



夢花だより

発行元
 社会福祉法人なごみ福祉会
 夢花事業部
 発行責任者 中村 行啓
 〒214-0036
 川崎市多摩区南生田 4-12-3
 TEL/FAX 044-976-3703
<http://www.nagomi-yumehana.com>

働く者としての基本姿勢

【記事ラインナップ】

1P. 「働く者としての基本姿勢」

夢花事業部部長 梶山よりお話

2P. 「各部門よりご挨拶」

今年度の振り返り、新年度へ向けた抱負

3P. 「ホノルルマラソン完走報告」

宝理さん、ホノルルマラソン完走特集

4P. 「活動報告&お知らせ」

【トピックス】

①新通所施設 建築風景



2016年2月29日(月)
 現在新しい通所施設を建築中です。基礎も出来上がり、いよいよ本格的に建物を造る工程へ進んでいきます。

②オリーブ WEB ショップ

開店のお知らせ



夢花工房オリーブのWEBショップが2016年2月よりオープン！
<http://nagomiyume.thebase.in/>
 HPにもリンクがあります。アクセスしてね♪

③「夢花だより第2号」

HPでもご覧いただけます。

「なごみ 夢花事業部」

で検索♪

夢花事業部の事業を、ご利用頂く皆さんの環境とご事情は実施事業が多岐に渡っている為、様々であろうと思います。どの場面で、どの事業を御利用頂いても、その支援を担当する職員の姿勢として、「させて頂いている」という気持ちを、大切にしたいと思っています。

「利用者の方が主体、利用者の方の意志が優先、利用者の方の人権と尊厳を尊重する。」と、福祉の現場では常に語られますが、私たち事業者と職員が、常にその姿勢に立っているかを日々反省し、自分自身に問いかけていかなければなりません。

事業所では、有り難い事に「ありがとうございます」と、ご利用者の方や家族の方から言われる事が度々あります。でも、「有難うございます」と、言うべきは、私たち事業者側であって、利用される方ではありません。

先日も、グループホームの入居の際に、親御さんから盛んに頭を下げられました。頭を下げるのは、事業者側の私たちの方です。多くのサービス事業所から選んで頂いたのですから。

願われるサービスの質と量が不足していて、お詫びしたり、お待ち頂く事はあります。でも、ご契約を頂き、お礼を言うべきは、仕事をして、お金を頂いている側の方です。

勿論、利用者の方や家族の方からお礼の言葉を頂くのは、嬉しいことですし、自分たちの仕事が評価されている事を、実感する事が出来、励みにもなります。

しかし、お礼を言われる事に慣れて、いつの間にか勘違いをしてしまう事を厳に戒めて行きたいと思っています。「してあげている」と、思う気持ちが芽生えてくる事が、昨今、介護の現場で起こっている問題の根本にあるのではないかと感じています。

私も自分の子供が、サービスの提供を受けた時に、つい、「有難うございました。ご迷惑をお掛けしました」と、口にしてしまう事がありますが、その時の相手の姿勢は、不思議と記憶に残るものです。

その事を職員一同、深く胸に刻んで、襟を正し、仕事に励みたいと思います。

「皆さん、夢花事業部のサービスをご利用いただき、誠に有難うございます。」

平成28年3月

夢花事業部部長 梶山 則行



各部門より新年度のご挨拶と抱負

『今年度を振り返って、来年度への抱負』

いよいよ一年の締めくくりの時期を迎えました。今年度も残すところ1ヶ月となりました。ご家族の皆様、地域の皆様にご支援、ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

さて、ここでは各部門から『今年度を振り返って、来年度への抱負について』というテーマでご挨拶をさせていただきます。来年度も夢花事業部をどうぞよろしくお願いいたします。



夢花事業部

夢花工房



進藤 道德
夢花工房ぽぱい
主任

平成27年度は実に早く過ぎた一年になりました。開所した当初から夢花工房ぽぱい（屋内作業班）を担当していましたが、今年度から屋外作業班へ移りました。以前担当していた頃と作業や支援方法がどう変化したかを確認しながら、支援をしていく日々でした。細かな業務内容は変化しましたが、職員だけでなく、利用者さんとも協力しながら作業を構築していきました。忙しくも楽しく過ぎていった一年でした。しっかり作業（利益だけの追求ではなく）をしながら、それぞれの個人に合った形での価値観を提案・提供していきたいと考えています。

相談支援センタードリーム



穴澤 康介
相談支援センター
ドリーム
相談支援専門員

相談支援専門員として仕事をさせて頂き、あっという間に1年以上が経ちました。今回、このような機会を頂き、今までを振り返ってみると、毎日が勉強で、多くの至らない点だけが頭に浮かんできます。それでも続けて来られたのは、一重に、当事者である利用者様方を含め、事業所内外の多くの方々に支えられているからこそ、と改めて実感しております。本当にありがとうございます。来年度は今以上に、利用者の方々が、地域で普通の暮らしを続けていける、そう実感して頂けるように、尽力してまいります。

なごみ生活ホーム 男子



平田 温康
防火管理責任者
責任者

防火防災活動の今年度は皆様のご協力の基に消防署による各施設の合同避難訓練の実施や防火管理者による個別で避難訓練の指導の強化を図る事が出来ました。また、防災面から地震を想定した避難訓練を自主的に行い安全面の対応について取り組みを行いました。防火防災自主検査について改善点や補強などの強化を実施しました。

来期に向けて避難訓練、自主検査の益々の強化を図りたいと思います。

なごみ生活ホーム 女子



岩本 泉
なごみ生活ホーム
女子
責任者

今年度はシフト調整を含むホーム全体を見渡せる様に努力してまいりました。

その中で利用者様、一人一人の障害特性や理解度に配慮していく視点の重さを感じています。

利用者様みんなの笑顔や元気な姿を感じながら私も一歩ずつ成長しているなあ〜と思っています。これからもホーム全体での活動等を計画し、利用者様みんなの笑顔が増えるよう考えていきたいと思っています。

児童デイサービス・ドリーム



秋山 かつ枝
児童デイサービス
ドリーム
主任

今年度を振り返ると…春は環境の変化からか、落ち着かない時期。そんな時『ドリームは変わらないから大丈夫！今までと同じでいいよ』と心の中で声を掛けます。子ども達は少しずつ自信を付けてきて、夏のぎらぎらした太陽の下で心も体も思いっきり発散！次に来る秋は、様々なことに興味の羽を広げていきます。そして冬、それぞれの巣立ちの3月です。1年を経て、心も体も一回り大きくなった子供たちは、新たに4月を迎えます。新しい環境にわくわく、ドキドキする気持ちをドリームはそのまま受け止めて、いつも変わらず安心して過ごせる場所でありたいと思います。

夢花工房 厨房 フルール



市村 真
厨房フルール
料理長

毎日厨房スタッフ9名、利用者の方々に喜んで食事をして頂けるよう工夫して工房の昼食70食、生活ホームの夕食70食を調理しています。

これからもっと利用者の方々が増え、一人一人食事制限や味付け刻み食など、色々対応して調理していきます。



夢花だより

宝理充康さん☆ホノルルマラソン完走！報告



『ホノルルマラソンを完走して』スペシャル☆インタビュー



夢花工房オーリーブに所属している宝理充康さんが2015年12月13日にハワイ・ホノルルマラソンを8時間24分9秒で見事、完走されました！お姉さんにも来て頂きインタビューをさせていただきました。

Q ホノルルマラソンを走るきっかけは？

姉：スポーツジムのマッサージを二人で受けていた時に、たまたま流れていたホノルルマラソンのアナウンスを聞いて充（宝理さん：以下充）が「ハワイ、ホノルル、マラソン」って言ったんだよね。

充：そうそう（笑）

姉：そしたらトレーナーが「じゃ、ホノルルいこうか！」とって、最初冗談かと思ったら本気でした（笑）充も本気でした。そこからすべてはじまりましたね。

Q 一番大変だったことはなんですか？

充：あし、いたかった、石が・・・くつに

姉：途中で石が靴に入ってそこから痛かったんだよね。35キロ地点付近だったね。

充：うん、いたかった



記念メダルと当日着用したウェアを持って

Q 今後の目標は？

姉：まずマラソンは続けていこうかと思ます。実は3年後にはまた走りたいね、なんて二人で話しています。

せっかく服から靴まで揃えたし（笑）

充：やる！

Q 最後にこのマラソンで学んだことは？

姉：初めてづくしのことので不安ばかりだったけど、やってみたらなんとかなるものだったってわかり ちいさなことにくよくよしな くなりました（笑）。そうだよ、充？

充：うん（いい笑顔☆）

素敵なお話を

ありがとうございました



（左から トレーナー、宝理さん、お姉さん）

【宝理さん 初フルマラソン 完走までの軌跡】

26年	7月	20日：ホノルルマラソンに行くに決めた日。	
	12月	マラソンシューズを購入！	
27年	1月	週1回のペースで40分～100分歩くようになる。	
	3月	10日：パスポートの申請・取得、航空機の予約。	
	4月	19日：ホノルルマラソンにエントリー完了！一気にハワイモード！	
	7月	室内で筋トレをメインに行う。	
	8月		
	9月	走りすぎによる腱鞘炎、関節炎。3週間は安静に。とほほ。	
	10月	トレーナーからはまだ安静にする様にと言われ休む。焦る(汗)	
	11月	走る練習は大会まで休み。筋トレがメイン。大会まであと1ヶ月！	
	12月		無事にハワイ到着し大会までは買い物と観光を楽しむ。
			11日：早朝に事件！ホテルのベッドから落下！右手中指を強打。
			13日：大会当日、3万人を超す参加者と共に午前5時にスタート！序盤は順調。だが徐々にスピードも落ちて、両脇を支えてもらいながら歩く状態。35キロ地点、ストレッチをして最後は気力走ります！そして ついにゴール！ 一緒に走ったお姉さん号泣！よく頑張りました！
	15日：帰国後、整形外科に受診。なんと 右手中指が骨折していた！		

ハワイ ホノルルマラソン 写真館

12月9日 大会までショッピング♪

一緒に走るインストラクターさんとジムのお友達とパチリ。美味しく栄養満点の本場のアサイボウルをいただきました。アロハ～



12月12日 前日決起集会

大きな大きなお皿に多量の炭水化物！そして炭水化物！マラソン中にエネルギーが切れないように前日にたくさん食べます。まずはパンケーキ4枚をペロリと完食！



12月12日 大会前日

カピオラニ公園の中央広場にて。さあ、二人で横断幕を持って「ハイ、ポーズ！」この時はまだ元気はあるが・・・



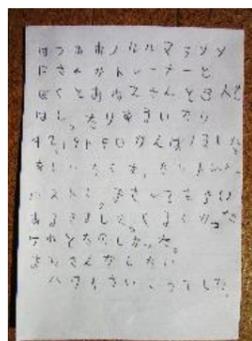
12月13日 GOAL後のテントで

座っていたかと思うと急に後方にバタン！と倒れる！「大丈夫！？」見たら寝ながらあんぱんをバクバク（笑）食べ終わった後すぐ起き上がり、次にカレーを食べて元気になった時の写真♪



1月22日 インタビューでわかった事実

拡大コピーして一枚一枚張り合わせて作った大きな地図。トレーニングで走った道に色があちこちに塗られています。これを見るとフルマラソン完走の影には膨大な練習量があったのだとわかります。スゴイ！



◆◆ 宝理充康さんの直筆の完走（感想）文 ◆◆

『はつのホノルルマラソンにさんか。トレーナーとぼくとおねえさんと3人ではしたりあるいたり42.195キロがんばりました。あしいたくなったりトレーナーにストレッチをしてもらいあるきました。またさんかしたい。ハワイさいこうでした。』



2016年 1月～2月の活動報告

【夢花工房パーカッションチーム 「ドリームレインボーフラワーズ」より】

2月1日：毎年恒例となりました、南生田小学校4年生の皆さんとのジョイントコンサート♪なんと、15年以上つづいている地域交流行事です！

ボンゴ、コンガ、タンバリン、マラカス等の楽器を持った30名のメンバーが元気に演奏します♪曲目は「ブラジル!」「テキーラ」「コンドルはとんでいく」を演奏。職員のドラムとピアノがパーカッションとミックスして体育館は大盛り上がり！そして4年生の皆さんからすてきな合唱のプレゼント。最後に「風になりたい」の曲によって、会場全員で1つの大きな輪になり、体育館内をパレードのように練り歩きました。

会の終わりに職員から「見かけたら声をかけてくださいね」といって締めくくりました。小学生の皆さんも、私たちも、同じ地域に暮らし、育ち、時に交わりながら共に生きているのだと改めて感じられた、とても楽しい時間でした。

(夢花工房 安藤陽子)



【児童デイサービス・ドリームより】

1月 夢花工房デイリーの利用者さんから素敵な毛糸の帽子を編んでいただきました☆これをみんなで被ってお散歩へ！
かわいい帽子で寒さを乗り切ります！！(左写真)

2月3日 節分です！ドリームにも鬼がやってきました！豆をまいて鬼を追い払います「鬼は～外、福は～うち、鬼は～外、福は～うち」鬼に見事命中！！
「ぐうっ」(右写真)

【なごみ生活ホーム 女子より】

2月11日(木) 祝日「どこかいきたいなあ」という利用者さんの声で、「じゃあご飯食べに行こうか!」とある休日の朝。その日は快晴♪気温も高く本当に心地よい。ホームから目的地の生田ガストまでは徒歩でのんびり3～40分というところ。ほどよく疲れ、お腹もすいてきたところで到着。みなさん好きなものを選んで満足。でも意外とドリンクバーのおかわりはできないものですね。せいぜい3杯飲んで「おなかいっぱい!」。帰りは歩く組とバス組に分かれ、帰ホームしました。とある休日の過ごし方・・・。



研修の報告 第20回アメニティーフォーラム

障害者の地域生活を推進していくための全国的なネットワークを作ることが目的に、毎年2月に滋賀県大津市で行われています。今年でなんと20周年を迎えるフォーラムに6人の職員が参加してきました。全国から1500人を超える人たちが参加され、早朝から深夜まで3日間に渡り濃密で充実した研修を受けてまいりました。

◆日時：平成28年2月5日(金)～7日(日) ◆場所：滋賀県 大津プリンスホテル
◆主催：アメニティーフォーラム実行委員会



大津プリンスホテル会場の様子

フォーラム参加者より感想

今回のフォーラムでいちばん記憶に強く残っているのは、ご自身が自閉症であり作家でもある東田直樹さんとお母さんの公演でした。会話のコミュニケーションはできない方なのですが、文字盤ポインティング(キーボードのようなもの)を使い、内面を表現されていました。たとえご自身で言葉を発することが難しくても私たちと同じように感じ、考えていることを本人の言葉によって体感することができました。会場の中には涙されている方もいらっしゃいました。常に考え、何事にも挑戦をされたお母様の存在も忘れられません。

夢花事業部からは現場の支援員だけでなく、事務員も参加しています。部署に関わらず全員が一丸となって支援をしていこうという体制があることが夢花事業部の強みであると感じています。今回の研修を通じ、利用者さんの表現や意思決定を大切に、少しでも多く楽しんでいただけるような支援につなげていきたいと思っております。

夢花工房ばい 山本 健治

【夢花事業部】 職員紹介コーナー



- ①お名前 ②趣味
- ③一言お願いします♪
- ① 南 定男
(生活ホームサービス管理責任者)
- ② 散歩、絵画、絵画
美術鑑賞、読書、
料理、会話
- ③ ひとり一人が、穏やかな日々を送れるように。障がいがあっても、一人の一日を豊かに。その生活を支え続けるホームでありたいと思います。

編集後記

もうすぐ春本番ですね。季節の変わり目は風邪をひきやすいです。皆様も体調にはお気を付けてください。私は寒気がしたらすぐ生姜湯を飲みます。温まりますよ！
さて、次号は5月発行予定です。新施設の情報などをお届けします。お楽しみに☆